



通算才139号

1996~1967-11-9

函館北ロータリークラブ

第123回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

スライド映写

高田会員提供

日本生産性本部企画、製作の「経営組織シリーズ」より

1. 組織と人

ある会社の総務部長が退職しました。その後任人事をめぐつて、阿部及び浅川常務の見解は次のようなものでした。智識、能力からみると上田総務課長が最適である。然し年令的に白井販売課長を無視出来ない、更に上田課長を登用した場合に2年先輩の内山企画課長も問題になる。誰をもつてゆくか、幹部会に計つても意見続出で、結論が得られず、社長の裁断を仰ぐことになりました。その結果、阿部常務が総務部長兼務となり、上田課長を部長代理とし、一見問題は解決したかに見えました。然し上田部長代理は多忙をきわめ、内山課長は後輩に追い越された感じを持ち、総務課の主席係長は課長の期待がはずれたことになりました。日本の人事はどうしても年功序列主義になりがちです。人か職能か、めんどろな問題です。どうしたらよいのでしょうか。

2. 責任と権限

山田社長はあるレセプションで友人から注意を受けました。「君の会社の小型ルームクーラーは故障が多くて困る」と。社長は直ちに調査を命じました。原因はコンプレッサーの不良と判明しましたが、工場長の返事は緊急調査中であるとのことで、更に調査を進めてみると、製造課では設計通りやつたから手落ちはない、設計課では販売部の要求通り作った、販売部では決して無理ではない、故障するのはおかしい、保管も万全である、検査課では急がされたから充分テストは出来なかつたが、と主張します。そこで各部門から出て調査委員会を開きましたが結局責任のポイントはわからず終いになりました。この場合どこに責任があつたのでしょうか、むづかしい問題です。

3. ラインとスタッフ

工場を見廻つた安全係長は、現場に危険を感じたので製造課長に申し入れを行ないました。然し現場では採り上げてくれません。安全係長は工場長に上申し、そこで改めて審議がなされました。製造課長の意見は大丈夫だろうとのことで、この多忙な中に工場を休んで修理をし、生産をへらすわけにゆかないと断が下りました。一体安全課はどうすればよいのでしょうか。ライン側とスタッフ側にはそれぞれ意見、不平があり、くい違い勝ちです。監査の場合など、進言は告げ口と誤解され易いものです。このようなことはあらゆる階層にあります。ラインとスタッフがお互いに理解されるような正しいあり方とは、一体どのようなものでしょうか。

○ 次週の例会日は11月16日で、23日は祭日のため休会です。

本日のプログラム

卓話 海洋の国際研究、北大水産学部教授 元田茂氏

司会 成田副会長 斉唱 我等の生業

ゲスト 花田馨氏(函館少年刑務所長)

ビジター 小畑清一君(森 家具量販売)

黒崎弘二君他9名(函館) 鉤谷尙若他14名(函館東)

弔意 成田副会長

東クラブ会員大道寺小次郎先生が、8日午前3時7分にお亡くなりになりました。全員黙とうを捧げたいと思います。(一同起立黙とう)

新入会員紹介 (布目賢治君) 野村宣市君

幹事報告

1. 1966年のデンバー年次大会の議事録が参りました。公式名簿と共に事務に保管しておきますので御覧下さい。

2. 当クラブで月間出席率100%に満たなかつた会員は、7月10名、8月15名、9月8名、10月12名でした。頑張つて下さい。

3. インターアクト・クラブ結成の準備委員長として勝木さん(函館ク)、副委員長として渡辺(函館東)、外山(函館北)の両氏がまきました。

4. 例会終了後理事会を行ないます。

インターアクト・クラブについて 外山定雄君

インターアクトはインターナショナルアクションの略で、国際的行動(活動)の意味です。トーマスが1959年につくつたのが最初で、日本では仙台の育英高校と京都の西商業高校が始めてです。現在(6月30日)世界48ヶ国に1351クラブ、日本では115クラブ、2800名です。函館では三クラブ合同でラ・サール高校が良いだろうとのことで話がすすみ、12月始めに発会式の予定です。目下66名の申込みがあります。

森岡東クラブ会長の挨拶

大導寺先生は私共のクラブに入つて3年、立派な方を失つて残念です。皆様から御丁重なる黙とうをいただき有難うございました。



通算才 140号

1966~1967-11-16

函館北ロータリークラブ

第124回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

本日のプログラム

ロータリー財団週間に因んで 函館RC 光銭源吉郎氏

司会 飯田会長 斉唱 我等の生業

ゲスト 元田茂氏 (北海道大学水産学部教授)

ビジター 鷺尾英一君他12名 (函館) 西村重蔵君他7名 (函館東)

会長報告

13~19日はロータリー財団週間にあたり、而も本年は創立50周年を迎えます。北クラブは発足以来、基金を通じてのみの消極的協力に過ぎませんでしたが、我々は先ずロータリー財団の認識が必要だと思えます。次回の例会には函館クラブの光銭さんに色々御教示をいただく予定です。

幹事報告

1. YWCAより「われらキヤロウェイ」の映画前売券を斡旋して参りました。御希望の方は幹事まで、220円です。
2. 例会終了後理事会を行ないます。

卓話 「海洋の国際研究」 元田茂氏

昭和28年秋に、アメリカのカリフォルニア大学附属研究所のスベンサー・ベアード号が、アリユージャン、千島の調査のため函館に寄港しました。その船を訪問して、新しい研究機械を持つていたのに驚かされました。戦中から戦後にかけて日本の海洋研究は後れました。戦前は帝国海軍の水路部が活躍し、又農林省でも海洋調査をやつていました。然し戦争で日本の研究が中断された間に、外国の進歩は著しいものがあつたのです。

先ず戦後にデンマークでは、1950~51年にガラテア号が大々的に世界の海洋調査を行ないました。その一年間の航海費用は街頭募金で半分をまかなつたとのこと。元来デンマークは、伝統的に国民こぞつて海洋研究に応援する国です。ガラテア号の主たる調査目的な深海の生物でした。従来1万mの深海は無生物帯であろうとされてきました。然しガラテア号は、フィリピン附近の1万mの深海でイソギンチャク様の生物を発見しました。

卓話 「少年刑務所について」 花田馨氏

先日私のところに電話がありました。刑務所で理容師の訓練をやられては困るというのです。役所に来て下さればよく説明しますと答えておきました。

刑務所は昔は牢獄と呼ばれましたが、明治中期に監獄に変わり、大正11年に刑務所となりました。繋いで隔離しておいた時代から、何か働かせようというふうに考え方が変わり、更に最近の意味のある働きをさせるようになりました。私共の少年刑務所には現在857名が入つていますが、統計でみると40%が窃盗、16%が強盗、10%が恐喝です。つまり働かないで人の物を盗るのが多いのです。更にそれ等は何故やつたかを考えてやる必要があります。

最近全国で4ヶ所をテストケースとして名称を変えてみました。私共の所も宇賀浦技能訓練所となりました。木工、活版印刷、洋服、溶接、製靴、彫刻、汽罐、船舶職員、理容、無線通信、農業、自動車整備、クリーニング等色々な職業訓練をやり、又国家試験も受けさせ、合格率も極めて優秀です。その結果従来は60%もあつた再犯が、職業訓練をやつて就職させることにより20%台に減少させることが出来ました。函館ドックでも働いていますが、彼等は働く意欲充分で、信頼感があれば決して逃げたりしません。

職業訓練は然し全員には行なえません。知能の低いもの、精神又は身体に障害のある者はまずく、別の施設に移します。又私共は毎日の生活に職業人としての癖もやつています。部屋の入り方、人の応待、言葉使い等もうるさくいつています。更に私共は彼等の今迄の生活環境のうちでどこに欠陥があつたかに注意し、その対策も考えてやります。

何れにせよこの2年間の成績は優秀でした。以上のような次才で、就職後についての御協力と、職業上差支えある場合にも御理解下さるようお願いいたします。

出席報告

1. 本日の状況 会員数30名 出席24名 欠席6名
2. 前回の確定出席率 89.66% (29名中26名出席)
- マーク・アップ 青柳君 深瀬君 飯田貢一君 今宮君 神原君
- 欠席者 戸栗君 塚田君 高田君
3. 他クラブの状況 函館92.52% 函館東88.16%
4. 10月通算出席率 83.62%

函館93.02% 函館東93.33%

次回(11月30日)のプログラム 会員卓話 今宮君

11月23日(水)は祭日につき休会となります。

布目新会員のプロフィールは次号で御紹介します。